

E7 エミュレータソフトウェアV.3.01 Release 00 への リビジョンアップのお知らせ

オンチップデバッグエミュレータE7(HS0007TCU01H)用エミュレータソフトウェアをV.3.00 Release 00からV.3.01 Release 00にリビジョンアップしました。

E7(HS0007TCU01H)は、H8ファミリ H8/300H Tinyシリーズ、H8/300H SLPシリーズ、H8/300L SLPシリーズ、およびM16Cファミリ R8C/Tinyシリーズ用です。

1. リビジョンアップ内容

1.1 サポートMCUの追加

デバッグ対象のMCUとしてH8/300H TinyシリーズのH8/36094F および H8/36109F を新たに追加しました。

1.2 H8 Tiny/SLP E7エミュレータデバッグの改修内容

- (1) H8/38076R, H8/38086R, H8/38327F, および H8/38347FをターゲットMCUとしている際のSystem Clockダイアログに入力可能なクロック値の最小値を2MHzから1MHzに修正しました。
- (2) H8/38327FをターゲットMCUとしている際にLCD機能またはWDTリセット機能を使用すると、Communication Timeout Errorが出力されて正常に動作しない問題を改修しました。
- (3) H8/38347FをターゲットMCUとしている際にWDTリセット機能を使用するとCommunication Timeout Errorが出力されて正常に動作しない(LCD機能は正常に使用できます)問題を改修しました。
(2)および(3)の詳細については2006年2月1日発行のRenesas Tool News「E8エミュレータソフトウェアおよびE7エミュレータソフトウェアご使用上のお願い」をご参照ください。
- (4) H8/36077FをターゲットMCUとしている際にRCCRL

ジスタをライトした時にベリファイエラーが発生する問題、およびブレイク時にCommunication Timeout Errorが発生する場合がある問題を改修しました。

2. リビジョンアップ方法

オンラインリビジョンアップ(無償)が可能です。

ダウンロードサイトからアップデートプログラムの実行ファイルをダウンロードして実行してください。

注意事項：

アップデートすると、High-performance Embedded Workshop V.4.00.02 以前のバージョンがインストールされている環境では、V.4.00.03にリビジョンアップされます。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.